

外装・物流関連機材

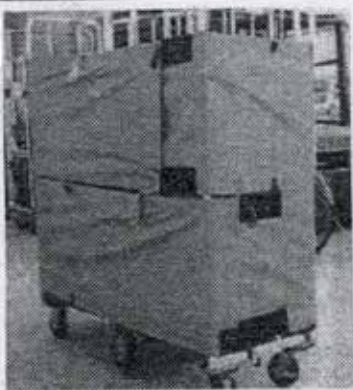
荷崩れ防止バンドを本格化

グローバルスタンダード

大手ユーザーなどが相次ぎ採用

ロジスティクスサーピスを展開する、グローバルスタンダード(福岡市博多区、☎092・418・2180)は、荷崩れ防止バンド「グリーンバンド」を販売展開している。製造元はグリーンテック(大阪市西区)。飲料・電気など大手ユーザーに相次ぎ採用されており、九州地区でも採用が強まるなど、さらに採用の動きが加速しつつある。

荷崩れ防止バンド「グリーンバンド」は、



「グリーンバンド」の「ソフトタイプ」

ストレッチフィルムのご代替として提案されている。ストレッチフィルムを使用すると、1パレット当たりコストが70円かかり、CO₂が0.8キログラム発生する。

同バンドを使用すると、1パレット当たり6円、CO₂発生量0.001338キログラムで、物流コストとCO₂発生量がともに削減される。

商品として6タイプを用意。「ソフトタイプ」は商品保護が容易で保管に最適。装着も容易。「窓付きタイプ(1)」は商品確認が容易で判別しやすい点が特徴。「窓付きタイプ(2)」は、商品を全面判別できる利点を持つ。

「キャップタイプ(1)」は、商品を埃から保護するキャ

ップイメージで使用。「キャップタイプ(2)」は防塵用を装着後、グリーンバンドと併せて使用する。

このほか、特注として6000mmなどの長尺タイプなどをラインアップしている。すでに電気・飲料・運輸などの大手企業に採用されている。九州地区でも動きが活発化している。

その中のある有力企業では、「コンテナ・リターナブルシステム導入と関連づけ、流通センターと6工場間の輸送時に用いるコンテナ形態の荷物(パレット)について『グリーンバンド』を導入。ストレッチフィルムを使用しないことで、廃棄物の発生を抑制する取り組みも開始した」とホームページで発信している。このようにユーザーから評価される「グリーンバンド」の今後の展開が注目される。